

感染症ぶち知識

<はじめに>

日本ではほとんど見られなくなった感染症に海外で感染し、国内で発症する例が増えています。飛行機や船などの移動手段の発達、海外旅行者の増加や国際交流の発展をもたらしましたが、感染拡大のスピードをも加速させています。

<エピソード①> 蚊に刺されない工夫を！ “虫よけスプレーの準備を”



今季オリンピック開催国のブラジルでジカ熱が大流行しています。ジカ熱はジカウイルスを持つ蚊（熱帯シマカとヒトスジシマカ）に刺されることで感染します。軽い症状で済むこともありますが、日本の国立感染症研究所に当たるアメリカ疾病管理予防センター『CDC』（ダスティン・ホフマン主演映画『アウトブレイク』にも登場していました）は、妊婦がジカ熱感染すると小頭症の子が生まれる可能性があるとして発表しています。性交渉による人から人への感染も報告されていますので、パートナーが妊婦の場合は特に注意が必要です。デング熱もウイルスを持った蚊に刺されることで感染します。

<エピソード②> マダニによって運ばれる！ “肌の露出は少な目に”



春から秋にかけてマダニが活発になる時期です。『SFTSウイルス』を持つマダニにかまれると傷口の血を止める血小板や免疫に関わる白血球が減る『重症熱性血小板減少症』という病気になります。中国で見つかったウイルスですが、海外に行ったことがない人も感染しています。ウイルスだけでなく、リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染する『日本紅斑熱』という病気もあります。静岡県でも5月死亡例が報告されました。草の茂った場所に行く時は長袖・長ズボンを着用しましょう。皮膚にかみついたマダニは無理に引き抜くと口の部分が皮膚に残ってしまうことがあるのですぐに皮膚科を受診してください。

<エピソード③> 背番号 157 番 大腸菌 “食中毒の季節です”



大腸菌『E.coli』は正常であれば腸管の中で『いい子』にしていますが、外から入ってきて下痢などの症状を起こす菌を病原性大腸菌といいます。中でもベロ毒素を出すものを腸管出血性大腸菌と呼びます。過去に安部川花火大会で冷やしキュウリによる集団食中毒がありましたが、この時検出されたのが腸管出血性大腸菌O157です。大腸菌には発見された順に番号がついています。いわば『大腸菌の背番号』です。『O』は細胞壁に由来する抗原のことで、“ゼロ”ではなく“オー”と呼びます。『O157』は157番目に発見された菌ということになります。

<エピソード④> わさびの抗菌殺菌効果はけっこうすごい！！



わさびの辛味の成分には強い抗菌・殺菌作用があります。生魚にわさび、カラシ、酢、醤油などが使われるようになったのは、冷蔵庫がなかった時代の知恵と言えます。魚介類による食中毒で知られている腸炎ピブリオをわさびのからみ成分に30分漬けると菌が減ることが実験でも証明されています。ちなみに腸炎ピブリオは真水では生きられないので水道水で洗うと菌が少なくなります。

<エピソード⑤> 家庭でできるレジオネラ菌増殖予防



レジオネラという名前は、米国在郷軍人(Legionnaire)にちなんで名づけられました。

昨今、レジオネラ症感染事故はニュースで大きく取り上げられることはありませんが、平成25年以降、毎年1000人を超えるレジオネラ感染者が報告されています。

人から人に移ることはなく、口の中に入っただけでは感染しませんが、免疫力が弱い人がジャグジーや打たせ湯などでレジオネラ菌の繁殖した水しぶき(ミスト状のお湯)を吸い込むことで感染することがあります。

*家庭で増殖の危険がある場所と予防のポイント

- 1.お風呂(特に循環式浴槽)・・・水の管理。体の汚れは落としてから浴槽に入る。
- 2.加湿器・・・こまめに水を取り替え、水の継ぎ足しはしない。タンクやノズルの掃除
- 3.水道の蛇口、シャワーヘッド・・・定期的な掃除や消毒



<エピソード⑥> 恐怖の人食いバクテリア

A群溶血連鎖球菌(溶連菌)は、人の皮膚にいる菌(常在菌)です。のど風邪の原因になることが多いですが、まれに皮膚や筋肉に感染すると重症化して細胞が壊死してしまうことがあります。皮膚が真っ黒になりあたかもバクテリアに食べられたような印象があるのでこの名がついたのかもしれませんが。溶連菌以外に人食いバクテリアと呼ばれているのがピブリオ・バルニフィカスという菌です。“バルニフィカス”は『傷』という意味です。主に傷口から体に入ることによって感染します。貝殻でけがをして感染することがあるので糖尿病などハイリスクの人は、海岸を裸足で歩かないほうがいいかもしれません。

<エピソード⑦> ひよりみかんせん日和見感染

健康な人には感染症を起こさない微生物が原因となり発症する感染症のことを日和見感染と言います。病気などで免疫力が下がった人に起こりやすいです

感染症にかからないためには
普段から健康を心掛け、
免疫力を高めておくことが大切です
『感染』しても『発症』させないことが重要です

